

関東地方整備局
甲府河川国道事務所長
吉岡 大藏 殿

住 所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇番

代表者 〇〇建設株式会社
代表取締役社長
〇〇 〇〇



「災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定」締結に関し技術資料を提出します。

なお、問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1. 問い合わせ先

担 当 者 : 〇〇 〇〇
部 所 : 〇〇〇本店〇部〇課
電 話 番 号 : (代) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 [(内) 〇〇〇〇]
FAX 番 号 : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

2. 本店所在地

名 称 : (本社又は本店の別も記載する)
住 所 :
電 話 番 号 :
FAX 番 号 :

3. 作業員・機材出動の拠点 (自社の拠点であり、協定期間中に機能すること)

名 称 :
住 所 :
電 話 番 号 :
FAX 番 号 :

※注：本店とは、一般競争（指名競争）参加資格審査申請書に記載した本店。
作業員・機材出動の拠点（自社の拠点であり、協定期間中に機能すること）を有する場合は記載する。

[〇/〇]

協定締結希望区間

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇建設株式会社

希望区間	希望区間	1	〇〇出張所	〇〇区間
	希望区間	2	〇〇出張所	〇〇区間
	希望区間	3	〇〇出張所	〇〇区間

※注) 複数区間を希望してよいが、希望者の少ない区間から順に選定を行うため、希望区間の優先順位は反映されない場合がある。

[〇/〇]

同種工事の施工実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

同種工事の条件		<p>平成9年4月1日以降に、関東地方整備局管内で元請けとして完成・引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)</p> <p>(7) 道路工事</p> <p>なお、当該実績が大臣官房官庁営繕部所掌の工事又は地方整備局所掌の工事(旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾空港関係を除く。)に係るものにあつては、評定点合計(工事成績評定通知書の記4. 成績評定①の評定点(評定点が修正された場合にあつては、修正評定点)をいう。)が65点未満のものを除く。</p> <p>また、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。</p>
工事名称等	工事名称	〇〇〇橋上部工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 ~ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
	工期	平成〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇年〇〇月〇〇日
	受注形態等	単体/〇〇・〇〇JV(出資比率〇〇%)
工事概要	構造物形式 規模・寸法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路橋(TL-20) ・ 〇径間連続鋼〇〇橋 〇〇〇m ・ 最大支間長 〇〇m ・ 主桁間隔 〇〇m ・ 〇〇床版 〇〇m² ・ 鋼材 〇〇〇t ・ コンクリート 〇〇m³
	架設方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 架設工法 〇〇〇〇〇工法 ・ 主要機械 〇〇〇〇クレーン(〇〇〇t)
	設計条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法その他技術的な特記事項等記載する。 ・ 安全対策、環境対策等について記載する。

注) 同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS(登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、受注者の確認ができる部分)の写しを提出すること。

ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

注) 同種工事の施工実績が大臣官房官庁営繕部(旧建設省を含む。)又は地方整備局(旧建設省地方建設局を含む。)の発注した工事(港湾空港関係を除く。)である場合にあつては、当該工事に係る工事成績評定通知書の写しを添付すること。

注) 記載欄の明示は記入例である。

[〇/〇]

優良工事表彰の実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設㈱

優良工事表彰の有無 (どちらか一方を記入する。)	優良工事表彰あり 優良工事表彰なし	
工	工 事 名 称	〇〇〇工事
事	優良工事表彰	〇〇〇事務所長 (平成〇年〇月〇日)
名	CORINS 登録番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
称	発 注 機 関 名	国土交通省関東地方整備局〇〇事務所
等	工 期	H〇年〇月〇日～H〇年〇月〇日
	受 注 形 態 等	単体/〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)

注) 平成23年度及び24年度それぞれの受賞年度毎に1件ずつ加点するので、局長表彰、事務所長表彰の順で加点の高い表彰工事を、受賞年度毎に1件記載すること。

注) 優良工事表彰された工事であることを証明する表彰状等の写しを必ず添付すること。

[〇/〇]

安全管理優良受注者表彰の実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

安全管理優良受注者表彰の有無 (どちらか一方を記入する。)	安全管理優良受注者表彰あり 安全管理優良受注者表彰なし
----------------------------------	------------------------------------

注) 安全管理優良受注者表彰されている場合は、表彰状の写しを必ず添付すること。

工事成績優秀企業認定の実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

平成２３年度	工事成績優秀企業認定	あり、なし(どちらか一方を記入する。)
平成２４年度		あり、なし(どちらか一方を記入する。)

注) 工事成績優秀企業認定を受けている場合は、それを確認できる資料の写しを添付すること。

「難工事」施工実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

工 事 名 称 等	工 事 名 称	〇〇〇工事
	工 事 成 績 評 定	〇〇 点
	発 注 機 関 名	国土交通省関東地方整備局〇〇事務所
	工 期	平成〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇年〇〇月〇〇日
	受 注 形 態 等	単体/〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)

注) 公告文(「難工事指定」の試行対象工事である部分)の写しを提出すること。
当該工事に係る工事成績評定通知書の写しを添付すること。

難工事功労表彰の実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

難工事功労表彰の有無 (どちらか一方を記入する。)		難工事功労表彰あり 難工事功労表彰なし
工 事 名 称 等	工 事 名 称	〇〇〇工事
	難工事功労表彰	〇〇〇事務所長 (平成〇年〇月〇日)
	発 注 機 関 名	国土交通省関東地方整備局〇〇事務所
	受 注 形 態 等	単体/〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)

注) 難工事功労表彰された工事であることを証明する表彰状等の写しを必ず添付すること。

資格保有者の状況（一級又は二級土木施工管理技士）

（災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定）

会社名：〇〇〇〇建設㈱

番号	氏名	生年月日	住所（市町村まで）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

※) 自社所属の技術者のみを記載する。

※) 書ききれない場合は、用紙を追加して下さい。

(様式－８別添)
資格証・社員証の写し添付様式
(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名： _____

[○/○]

災害出動要請時の作業員配置及び参集状況

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

※記載する作業員の人数は単に社員や協力会社社員などの社員数を記載するのではなく、本協定に基づく要請時に出勤可能な人数を記載すること。

参集場所 (本店、支店、基地、協力会社等)	住所	人 員							合計 人数
		所属 の別	作業員	オペレーター					
				資格区分					
				クレーン 類	運搬 車類	掘削 機類	その 他 機械		
本店	山梨県〇〇市 〇〇町	自社 社員	5	2	1	1	1	0	7
		協力会 社等	3	2	1	2	0	0	5
	※欄が不足する 場合は適宜追加	自社 社員							
		協力会 社等							
合 計		自社	5	2	—	—	—	—	7
		協力	3	2	—	—	—	—	5
		総合計	8	4	—	—	—	—	12

●出動要請時に甲府河川国道事務所に協力するための確保体制

記入例

- ・自社の作業員が〇〇名おり、他業務を考慮しても緊急時に〇〇名は出動が可能。
- ・通常〇〇市周辺で工事を受注していることが多く、作業員等が張り付いているので緊急時にこうした現場から〇〇人を回すことが可能。
- ・〇〇会社と年間通して常に下請け契約があり、優先的に作業員、オペを確保できる。

注) 出動要請時に社員が参集を予定している場所ごとに出勤できる人数を記入。

注) 通常勤務している人員ではなく、出動要請時に出勤可能な予定人員を記載すること。

注) 作業員とオペレータの人数については、それぞれ別の者の人数を記入するものとする。

例えば、作業員人数〇〇人の内オペレータ人数〇〇人という書き方はしないこと。

注) 様式11に該当する他協定による要請を考慮しなくても良いが、この場合は様式11にて要請が重なった場合の体制について説明すること。

注) 様式11に該当する他協定による要請が重なった場合を考慮して記載しても良いが、この場合は記載どおりに評価する。

注) オペレータの資格区分は該当する資格数を記入(1人で複数の資格がある場合重複可)

(参考) クレーン類=ホイールクレーン、ラフタークレーン等

運搬車類=ダンプ、トラック、トレーラ等

掘削機械=バックホウ、ショベル、ブルドーザー等

その他機械=モータグレーダー、高所作業車等

[〇/〇]

災害時に使用する建設機械の保有状況

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設(株)

※記載する建設機械は単に会社で保有している建設機械を全数記載するのではなく、本協定に基づく要請時に出動が確保できる建設機械及び台数を記載すること。

建設機械名称	規格	単位	数量	保管場所	
				所有者	住所
ホイールクレーン	〇t吊り	台	1	自社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
小型ブルドーザー	〇t級	台	1	自社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
バックホウ	〇m ³	台	2	自社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
バックホウ	〇m ³	台	2	自社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
ショベルローダー	〇m ³	台	1	協力会社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
ショベルローダー	〇m ³	台	2	協力会社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
ダンプトラック	〇t	台	2	協力会社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
クレーン付トラック	〇t 〇t吊	台	1	協力会社	山梨県〇〇市〇〇町〇番
トレーラー	低床 〇t	台	1	協力会社	山梨県〇〇市〇〇町〇番

●協力要請時に甲府河川国道事務所に協力するための確保体制
記入例

- ・当社ではバックホウを〇台保有し、災害時には〇台出動させることが可能。
- ・〇〇建設とは年間を通して下請け契約があり、所有している機械を優先的に使用することが可能。

注) 出動要請時に確保可能な建設機械の予定台数を記入すること。

注) 様式11に該当する他協定による要請を考慮しなくても良いが、この場合は様式11にて要請が重なった場合の体制について説明すること。

注) 様式11に該当する他協定による要請が重なった場合を考慮して記載しても良いが、この場合は記載どおりに評価する。

注) 欄が不足する場合は適宜追加。

注) 記入する建設機械は下記のとおり。

クレーン類=ホイールクレーン、ラフタークレーン等

運搬車類=ダンプ、トラック、トレーラ等

掘削機械=バックホウ、ショベル、ブルドーザー等

その他機械=モータグレーダー、高所作業車等

災害応急対策に関する協定又は契約の締結状況

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇建設株式会社

●協定または契約を締結している場合は下表を記入すること

番号	協定・契約の別		名称	締結機関名	協定締結日	有効期間	備考
記載例	○	協定	〇〇市災害復旧に関する〇〇協定	〇〇市〇〇土木事務所	H〇年〇月〇日	1年(自動更新)	〇〇市建設業組合として
		契約					
1							
2							
3							

災害要請が重なった場合、甲府河川国道に協力するための体制
記入例

- ・当社は〇〇人の技術者がいるため、市役所から要請があっても甲府河川国道の作業に従事できる。
- ・当社は〇〇人の作業員又はオペレータがいるため、市役所から要請があっても、〇〇人は甲府河川国道の作業に従事できる。
- ・様式9、様式10に記述した内容は、災害要請が重なった場合を考慮したものである。

※注) 実績として記載した協定書または契約書の写しを添付すること。

※注) 上表の協定・契約の別欄は、該当項目に「○」を記入すること。

※注) 地元建設業組合等の団体名義で、協定を締結している場合には、締結機関名に団体等の協定相手、備考欄に組合等の名称を記入すること。また団体等への加入を証明できる資料を提出すること。

※注) 上表に記載しきれない場合は、適宜挿入のこと。

[〇/〇]

災害応急復旧工事の施工実績

(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設株

記入条件	平成14年4月1日以降に、元請けとして完成・引き渡しが完了した関東地方整備局管内における災害応急復旧工事（災害復旧工事は含まない。いわゆる緊急災をいう。災害協定により出動し工事契約を締結したものは含む。）	
工事 名 称 等	工事名	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	関東地方整備局〇〇事務所
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇地先
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇円
	工期	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日
	受注形態等	単体 / 〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)
工事 概 要	分野	例 ()
	工種(種別)	例 土工 〇〇〇m ³
	応急復旧の状況(概要)	

※注：施工実績については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、受注者の確認ができる部分））の写しを提出すること。

ただし、CORINS等での記載内容で施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

※注：記載欄の表示は記入例です。

(様式－13)

災害時の事業継続力の認定状況
(災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定)

会社名：〇〇〇〇建設（株）

基礎的継続力認定企業の認定の有無	認定年月日
あり、なし (どちらか一方を記入すること。)	平成〇〇年〇〇月〇〇日

注) 認定書の写しを添付すること。